

2020年3月期（第120期）第2四半期
（2019年4月1日～2019年9月30日）

芦森グループ決算説明資料

連結業績は、売上高 27,214百万円、
営業損失 357百万円、経常損失 366百万円、
親会社株主に帰属する四半期純利益 1,450百万円となりました。

2019. 11. 8

芦森工業株式会社

I . 2020年3月期（第120期） 第2四半期実績

前年同期比で減収減益（営業・経常利益ベース）

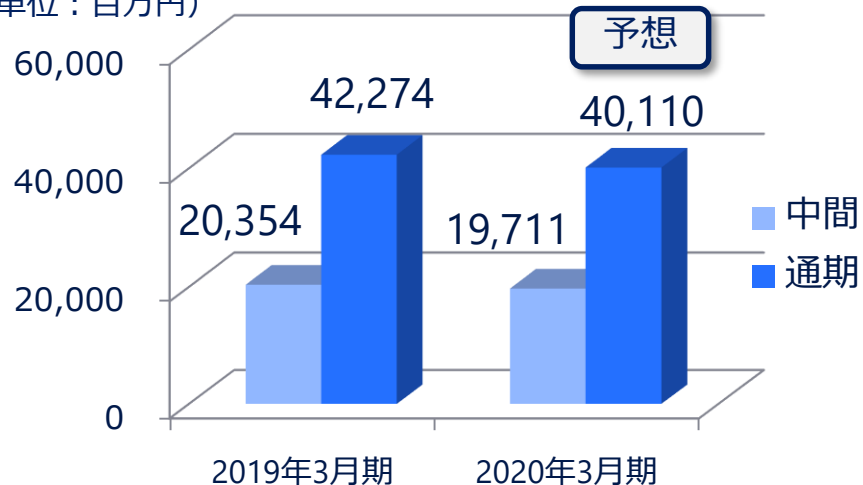
	2018年3月期 2Q累計実績 (百万円)	2019年3月期 2Q累計実績 (百万円)	2020年3月期 2Q累計実績 (百万円)	前年同期比	
				(百万円)	(%)
売上高	26,159	27,821	27,214	▲ 606	▲ 2.2
営業利益	394	97	▲ 357	▲ 454	▲ 466.4
（営業利益率）	1.5%	0.4%	▲ 1.3%	-	▲ 1.7
経常利益	600	▲ 34	▲ 366	▲ 331	-
特別損益	▲ 470	▲ 37	2,949	2,986	-
税金等調整前 四半期純利益	129	▲ 72	2,582	2,654	-
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	▲ 368	▲ 402	1,450	1,852	-

- 自動車安全部品事業において販売が低迷し、一部材料費の高騰等により収益率が低下したため、営業・経常利益ベースで減収減益となった。
- 本社・大阪工場の一部土地売却益等（特別利益）により、四半期純利益は増加した。

		2019年3月期 2Q累計実績 (百万円)	2020年3月期 2Q累計実績 (百万円)	前年同期比	
				(百万円)	(%)
自動車 安全部品 事業	売上高	20,354	19,711	▲ 643	▲ 3.2
	営業利益	88	▲ 496	▲ 585	▲ 659.8
	(営業利益率)	0.4%	▲ 2.5%	-	▲ 3.0
機能製品 事業	売上高	7,463	7,491	28	0.4
	営業利益	685	815	129	18.9
	(営業利益率)	9.2%	10.9%	-	1.7
不動産収入、 本社経費他	売上高	3	11	8	234.7
	営業利益	▲ 676	▲ 675	1	▲ 0.2
合 計	売上高	27,821	27,214	▲ 606	▲ 2.2
	営業利益	97	▲ 357	▲ 454	▲ 466.4
	(営業利益率)	0.4%	▲ 1.3%	-	▲ 1.7

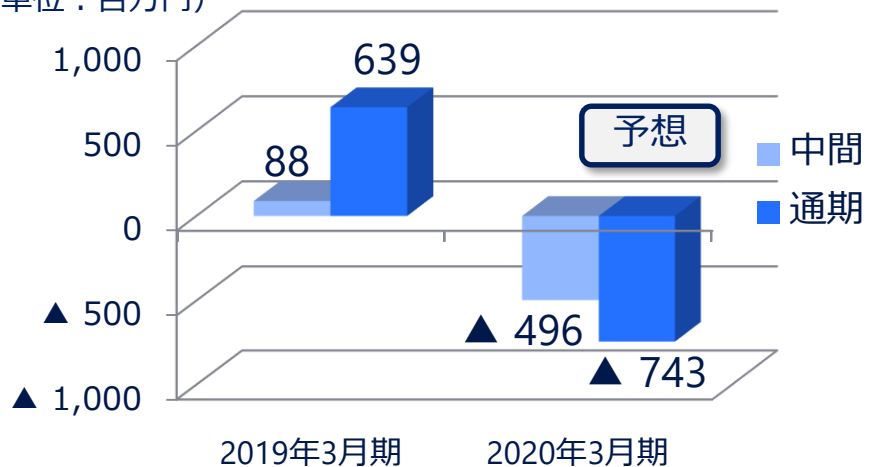
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2020年3月期 第2四半期累計

売上高 (前年同期比 ▲ 3.2%)

営業利益 (前年同期比 ▲ 659.8%)

減価償却費の増大、材料費率の上昇、商品構成の変化にともなう収益率の低下等により、大幅減益。

- ・ シートベルト関連

前年同期に比べてタイ・中国・インドの現地法人で売上が減少したが、国内および韓国・メキシコの現地法人において新規車種の立ち上がりもあり売上が増加。

- ・ エアバッグ関連

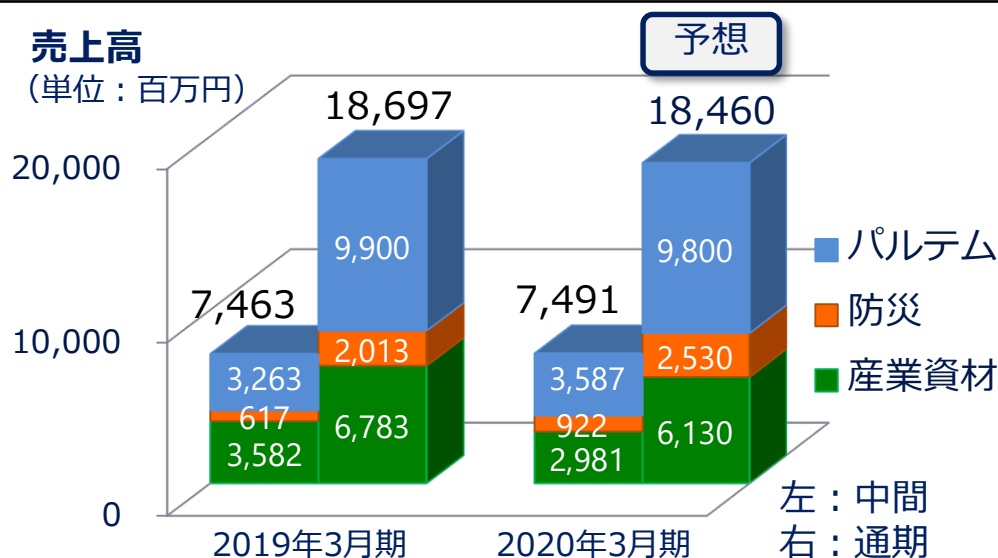
前年同期に比べてメキシコの現地法人は売上が増加したが、国内およびタイ・中国・インド・韓国の現地法人において受注車種の販売低迷により売上が減少。

- ・ 内装品関連

前年同期に比べてインド・韓国・メキシコの現地法人は売上が増加したが、国内、タイ・中国の現地法人において受注車種の販売低迷により売上が減少。

売上高

(単位：百万円)



2020年3月期 第2四半期累計
売上高 (前年同期比 + 0.4%)
営業利益 (前年同期比 + 18.9%)

- Paltem関連

ライフライン（下水道・上水道・ガス等）の管更生分野において、特に下水道向けと上水道向けが好調に推移し、売上は増加。

- 防災関連

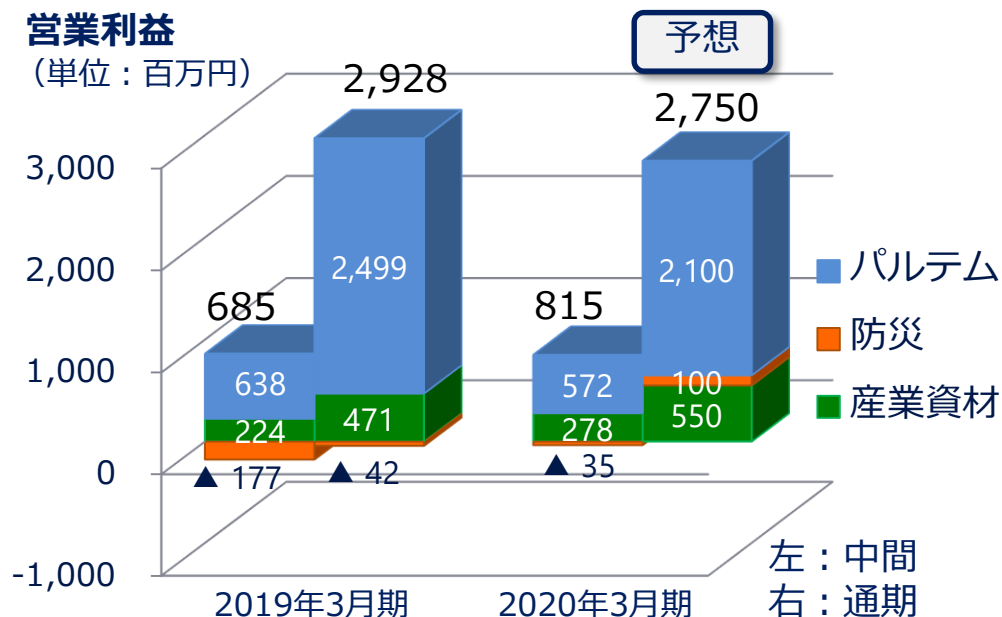
消防用ホースの受注が好調であったほか、大口径ホースや排水ホース、防災関連資機材の需要が増加し、売上は増加。

- 産業資材関連

物流省力化分野と建築資材分野の売上が増加したが、前年同期における連結子会社のオールセーフ株式会社の決算期変更による売上増があったことから、売上は減少。

営業利益

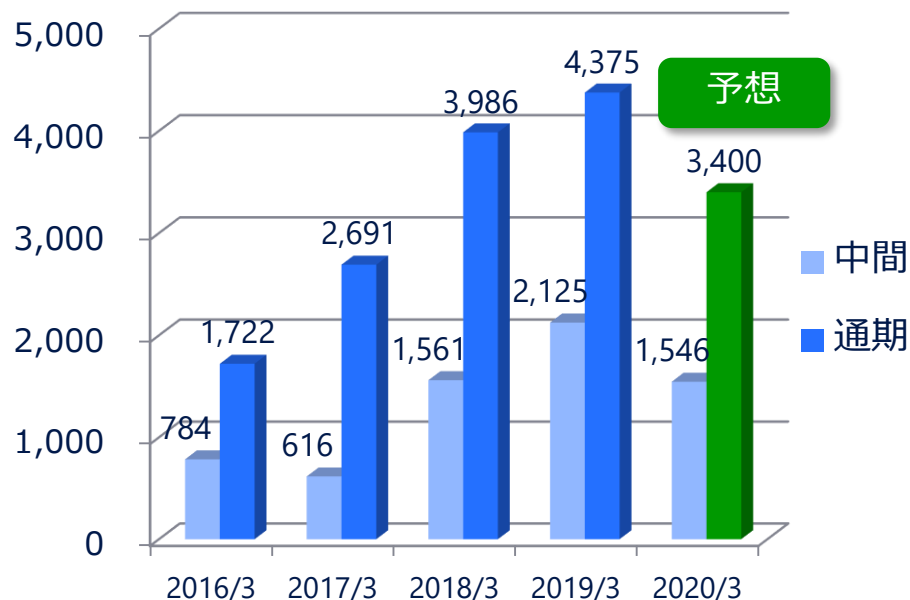
(単位：百万円)



※Paltem(PALTEM)は、ライフライン(上下水道・ガス等)の管更生事業 Pipeline Automatic Lining system の略称。

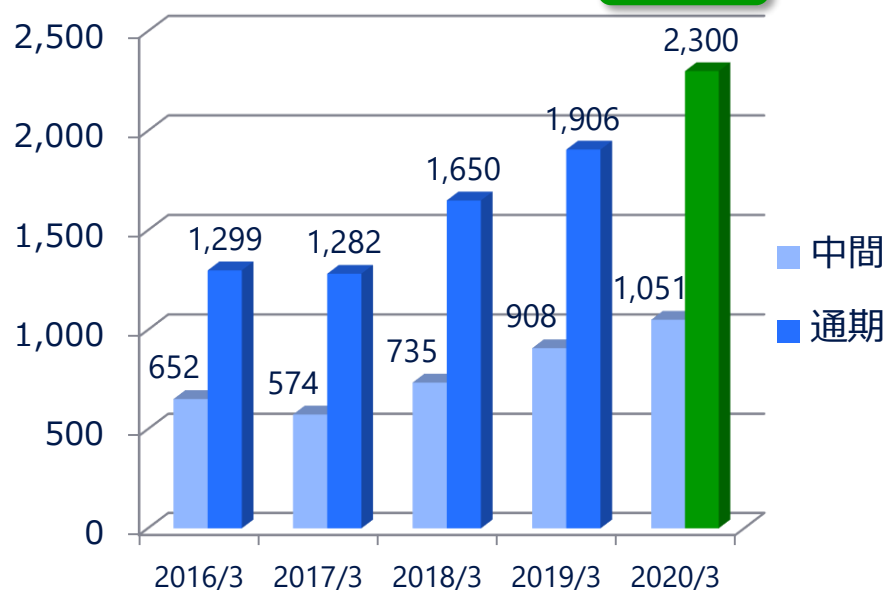
設備投資の推移

(単位：百万円)



減価償却費の推移

(単位：百万円)



<設備投資について>

2020年3月期の設備投資は合計 約 34 億円となる見込み。

(内訳は、自動車安全部品事業 約 24 億円、機能製品事業 約 8 億円、その他 約 2 億円)

主な投資内容は下記の通り。

- 自動車安全部品事業 アシモリ・タイランドのエアバッグ生産効率化設備 約 2 億円
- 機能製品事業 パルテム関連の工場防爆仕様改装等 約 2 億円

（単位：百万円）	2019年3月期 2Q末	2019年3月期末	2020年3月期 2Q末	前期末比
流動資産	24,988	29,054	27,311	▲ 1,743
固定資産	17,729	18,612	18,142	▲ 470
資産合計	42,717	47,667	45,454	▲ 2,213
有利子負債	13,120	13,122	12,699	▲ 422
その他負債	15,753	19,151	16,344	▲ 2,807
負債合計	28,874	32,273	29,043	▲ 3,230
資本金	8,388	8,388	8,388	0
資本剰余金	1,633	1,632	1,632	0
利益剰余金	3,777	5,424	6,602	1,177
自己株式	▲ 181	▲ 174	▲ 165	9
その他の包括利益累計額	200	94	▲ 82	▲ 177
新株予約権	9	10	17	7
非支配株主持分	15	16	16	0
純資産の部合計	13,843	15,393	16,410	1,016
負債及び純資産の部合計	42,717	47,667	45,454	▲ 2,213
自己資本比率	32.3%	32.2%	36.0%	3.8%

- ・ 流動資産は、売掛金・完成工事未収入金の回収が進んだため、減少した。
- ・ その他負債は、仕入債務の支払が進んだため、減少した。

	2019年3月期 2Q累計実績 (百万円)	2020年3月期 2Q累計実績 (百万円)	前年同期比 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,204	1,143	▲ 1,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,495	707	3,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	460	▲ 580	▲ 1,041
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 37	▲ 24	13
現金及び現金同等物の増減額	131	1,246	1,114
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,612	4,187	1,575

- 「営業活動によるキャッシュ・フロー」
棚卸資産の増加、仕入債務の減少により、前年同期比で悪化した。
- 「投資活動によるキャッシュ・フロー」
本社・大阪工場の一部土地売却により、前年同期比で改善した。
- 「財務活動によるキャッシュ・フロー」
借入金の返済により、前年同期比で悪化した。

Ⅱ. 2020年3月期（第120期）予想

2020年3月期は 前期比で減収減益（営業・経常利益ベース）の見込み

	2019年3月期 実績 (百万円)	2020年3月期 予想 (百万円)	前期比	
			(百万円)	(%)
売上高	60,978	58,600	▲ 2,378	▲ 3.9
営業利益	2,237	700	▲ 1,537	▲ 68.7
（営業利益率）	3.7%	1.2%	-	▲ 2.5
経常利益	2,321	600	▲ 1,721	▲ 74.2
特別損益	▲ 255	2,949	3,205	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,245	1,900	654	52.6

- 想定為替レート：106円/US\$, 119円/€（前回公表は110円/US\$, 130円/€）
- 期末配当は、1株あたり30円を予定（前回公表より15円減額）。

		2019年3月期 実績 (百万円)	2020年3月期 予想 (百万円)	前期比	
				(百万円)	(%)
自動車 安全部品 事業	売上高	42,274	40,110	▲ 2,164	▲ 5.1
	営業利益	639	▲ 743	▲ 1,382	▲ 216.2
	(営業利益率)	1.5%	▲ 1.9%	-	▲ 3.4
機能製品 事業	売上高	18,697	18,460	▲ 237	▲ 1.3
	営業利益	2,928	2,750	▲ 178	▲ 6.1
	(営業利益率)	15.7%	14.9%	-	▲ 0.8
不動産収入、 本社経費他	売上高	7	30	22	326.1
	営業利益	▲ 1,330	▲ 1,307	23	▲ 1.8
合 計	売上高	60,978	58,600	▲ 2,378	▲ 3.9
	営業利益	2,237	700	▲ 1,537	▲ 68.7
	(営業利益率)	3.7%	1.2%	-	▲ 2.5

- 自動車安全部品事業では、減価償却費の増大、材料費率の上昇、商品構成の変化にともなう収益率の低下等により、営業赤字となる見込み。
- 機能製品事業では、管更生分野（パルテム関連）の施工工事の減少と収益率の低下等により、減収減益となる見込み。

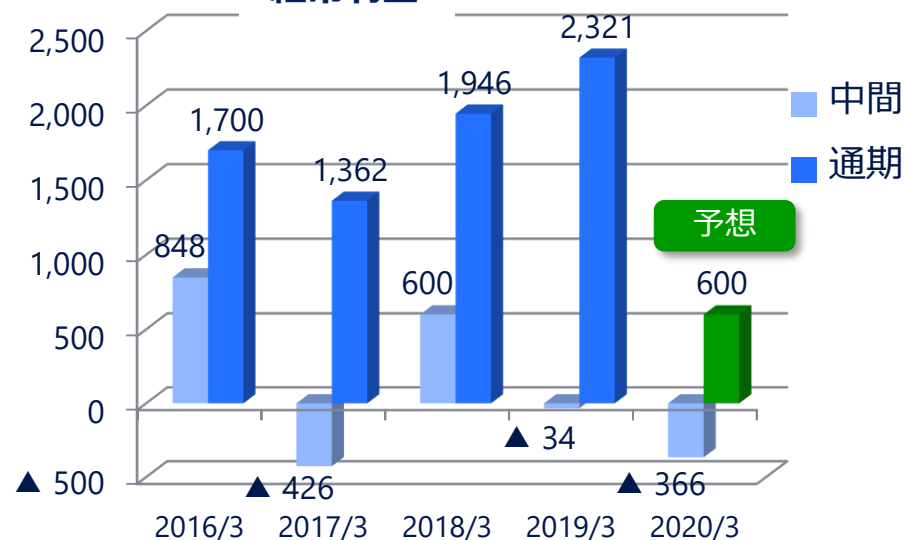
(単位：百万円)

売上高



(単位：百万円)

経常利益



(単位：百万円)

営業利益



(単位：百万円)

親会社株主に帰属する
当期純利益

III. 參考資料

製品のご紹介（自動車安全部品事業）



シートベルト



電動シェード



エアバッグ



セパレーションネット

事業内容

自動車用シートベルト、エアバッグ、ステアリングホイールおよび内装品などの製造・販売

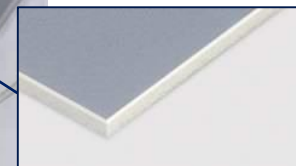
製品のご紹介（機能製品事業）



ブルーライン
システム
(給排水システム)



パルテム・フローリング工法
(管路更生工法)



結露防止シート
結露ブロック

事業内容

管路更生工法「パルテム」用材料・資機材および土木資材などの製造・販売ならびに管路更生工事、消防用ホース、産業土木用ホースおよび防災関連資機材の製造・販売、産業用繊維資材（合繊ロープ・帆布など）、物流省力化システム関連、および墜落阻止器具

芦森グループ 社是・M V V（Mission・Vision・Value）について

- 社是**
1. 信用を重んじ、堅実を旨とする
 2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く
 3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する

Mission “新しい価値”の提供で、社会に貢献する

Vision “安全・リニューアル”分野で技術をリードする
世界に通じる“Excellent Company”

Value “スピード”
“コミュニケーション”
“ストーリー”

ASHIMORI



ASHIMORI
POWERED BY
INNOVATION

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 広報・IR室

TEL : 06-6105-1680

MAIL : ir_madoguchi@ashimori.co.jp

HP : <https://www.ashimori.co.jp>